

【演習問題 4 : 文書作成問題】

地震災害対策

対策1：水や食料を備蓄する。ライフラインが止まっても自力で生活ができるように飲料水や非常食などを最低3日間以上備蓄する。

対策2：非常用持出袋を準備する。自宅が被災したときは安全な場所に避難しそこで避難生活を送ることになる。そのため、非常時に持ち出すものをあらかじめリュックサックなどに詰めておき、いつでもそれをすぐに持ち出せるようにする。

対策3：家具を固定する。地震が発生した場合には、倒れてきた家具の下敷きになって亡くなったり、けがを負ったりすることがある。「地震の発生時には家具は必ず倒れるもの」と考えて家具を固定する。

対策4：避難場所と避難経路を確認する。避難場所を事前に確認するとともに、そこまでの経路およびその経路が避難時に安全かどうかを事前に確認する。

対策5：連絡方法などを決める。地震災害時に家族がバラバラになったときに備え、家族間での連絡方法や待ち合わせ場所を事前に決める。例えば、災害用伝言ダイヤルを活用するのも家族間での連絡方法の1つである。



【災害用伝言ダイヤル（171）の基本的操作方法】

「171」をダイヤルし、音声ガイダンスに従って伝言の録音、再生を行って下さい。

操作手順	伝言の録音		伝言の再生	
	(増設番号なし)	(増設番号あり)	(増設番号なし)	(増設番号あり)
① 171をダイヤル	171			
② 録音または再生を選ぶ。	<small>【ガイダンス】 こちらは災害用伝言ダイヤルセンターです。録音される方は1、再生される方は2、増設番号を利用する録音は3、増設番号を利用する再生は4をダイヤルして下さい。</small>			
	1	3	2	4
③ 被災地の方の電話番号を入力する。	<small>【ガイダンス】 被災地の方のご自宅の電話番号を、または、連絡を取りたい被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤルして下さい。</small>			
	0XXXXXXX			

